

令和8年度

島根県教育センター／島根県教育センター浜田教育センター

教育研究発表会

多様な学びを支える教職員をめざして
— 問いをもち、探究し続ける —

申込期間 5月8日(金)～7月31日(金)

第1部 研究・研修成果発表（オンデマンド配信） 6月4日(木)～7月31日(金)

指導主事共同研究・個人研究

【共同研究】

〔島根県教育センター〕 企画・研修スタッフ 研究・情報スタッフ 教育相談スタッフ
〔浜田教育センター〕 研究・研修スタッフ 教育相談スタッフ

【個人研究】

〔島根県教育センター〕 高橋 隆子 福田 秀孝
〔浜田教育センター〕 片岡 靖典

長期研修員研修報告

〔島根県教育センター〕 中島 央恵 長束 真弓
〔浜田教育センター〕 原田 貴久美 和田 成弘



視聴申込はこちら

※島根県教育センターHPからも申込可能

第2部 講演（オンライン） 6月4日(木) 13:30 配信スタート 15:30 終了予定
（アーカイブ配信） 6月8日(月)～7月31日(金)

「多様性を包摂する学校とは — 次期学習指導要領を踏まえて —」

一般社団法人 UNIVA 理事

中央教育審議会教育課程部会教育課程企画特別部会委員 野口 晃菜 氏



※島根県公立学校教職員は、本発表会の視聴をもって、管理職セレクト研修、フォローアップ研修（2年目）の校外自主研修とすることができます。
なお、フォローアップ研修（2年目）の校外自主研修については、第1部と第2部の全てを視聴することで、1日と扱います。

問い合わせ先 〒690-0873 松江市内中原 255-1 島根県教育センター 研究・情報スタッフ 研究発表会担当 TEL(0852)22-5872

教育研究発表会 多様な学びを支える教職員をめざして 一問いをもち、探究し続ける一

参加・視聴申込 5月8日(金)～7月31日(金)

※ 島根県公立学校教職員は、本発表会の視聴をもって、管理職セレクト研修、フォローアップ研修2年目校外自主研修とすることができます。
なお、フォローアップ研修(2年目)の校外自主研修については、第1部と第2部の全てを視聴することで、1日と扱います。

第1部 研究・研修成果発表(オンデマンド配信) 6月4日(木)～7月31日(金)

指導主事共同研究・個人研究

〔島根県教育センター〕

「島根の子どもの資質・能力を育む授業づくり～単元構想シートの効果的な活用に向けて～」
企画・研修スタッフ

「学校組織のICT活用を促進する教育センターの情報提供の在り方に関する研究
～生成AI等の最新動向の整理を通して～」
研究・情報スタッフ

「子どもたちが人とつながりながら自分らしく生きようとするために～『心の基地』を育みながら～」
教育相談スタッフ

「子どもが主体的に問題解決をする理科の授業づくり 一問題を見いだす力を育成する導入の工夫～」
高橋 隆子

「高等学校理科(物理)における生徒が自分事として課題を捉えることができる導入を目指して」
福田 秀孝

〔島根県教育センター浜田教育センター〕

「多様な子供の主体的な学びを支える授業づくりに向けた一考察
～『学びの主体的な調整』を促す授業デザイン～」
研究・研修スタッフ

「多様な子どもの主体的な学びを支える授業づくりの推進～ユニバーサルデザインの視点から～」
教育相談スタッフ

「子どもを主語にした学級づくりと授業づくりに関する一研究」
片岡 靖典

長期研修員研修報告

〔島根県教育センター〕

「日本語指導が必要な子どもたちが自分らしく前向きに生きるための支援
～子どもが安心して思いを表現することにつながる関わりを通して～」
中島 央恵

「聴覚障がいのある子どもたちがより安心して思いを表現しようとするために
～子どもたちの心に目を向けた関わり～」
長束 真弓

〔島根県教育センター浜田教育センター〕

「中学英語における充実した『個別最適な学び』のための教師の支援の在り方
～『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を目指して～」
原田 貴久美

「援助ニーズの高い児童生徒のアセスメントをセルフアドボカシーにつなげる効果的なフィードバック
～児童生徒のよいところを共有してよりよい支援や自己理解につなげるために」
和田 成弘

第2部 講演(オンライン) 6月4日(木)13:30 配信スタート 15:30 終了予定 (アーカイブ配信) 6月8日(月)～7月31日(金)

「多様性を包摂する学校とは 一 次期学習指導要領を踏まえて 一」

一般社団法人 UNIVA 理事

中央教育審議会教育課程部会教育課程企画特別部会委員 野口 晃菜 氏



博士(障害科学)。小学校6年生の時にアメリカへ渡り、障害児教育に関心を持つ。高校卒業後に日本へ帰国、筑波大学にて多様な子どもが共に学ぶインクルーシブ教育について研究。

小学校講師、株式会社 LITALICO 研究所長を経て、現在一般社団法人 UNIVA 理事として、学校、教育委員会、企業などと共にインクルージョンの実現を目指す。

共著に「障害のある10代のための困りごと解決ハンドブック」(現代書館)、「子ども主体で取り組もう!学校全体で取り組む多層型 SST」(中央法規)、「学校全体で挑む『誰ひとり』取り残されない学校づくり」(明治出版)、「LD(ラーニングディファレンス)の子がみつけた勉強法」(合同出版)「差別のない社会をつくるインクルーシブ教育」(学事出版)などがある。